

## 自主自律とは・・・

昨日、生徒会の企画により「ノーチャイムデー」を行いました。目的は生徒が主体的に動けるようにするため、時間を意識しない人にノーチャイムデーを通して時間の意識の向上を図るためです。

さて、実際の様子は、授業開始や終了の時間に時計を見て意識している人が多かったように思います。あるクラスは、いつもよりも授業開始前に静かに座っている様子が見られました。また、座ろうという声掛けができていたクラスもあつたり、「もう座らないとまずいから!!」と時間を意識した言葉を言ったりしている人もいたので、生徒会が目的としていた時間の意識の向上の契機になっていたと思います。

ですが、これでできたと満足せず、1日限りのイベントだからではなく継続していくことが本来の目的です。そこで一つの事例で考えてみましょう。廊下で遊びや話に夢中になっていて時間を守れない人がいるとします。学級委員が廊下に出て、教室に入るよう促すという方法を考え実行しました。しばらくこの呼びかけを続けていると、自然と自分から教室に入ることができる人が増えた一方、声をかけてもらわないと動けない人も少数居続けました。皆さんはこの事例をどう思いますか?リーダーの行っていた声掛けはクラスや学年全体の向上のために必要なことであり、素晴らしい行動だと思います。先生達ではなく生徒自身で互いに声をかけ自律していく姿はまさに主体的です。しかし、見方を変えれば、最後まで人に言われないと行動できなかった人の自律を促す機会はどうしたらよいかという考えも出てくるでしょう。その人は言われないとできない人のままになってしまいます。

では自律するにはどうしたらよいのでしょうか。その人が意識して変わらなければならないというのは大前提ですが、クラスとしてできることも実はあるのではないのでしょうか。それは、流されないこと、すべきことを毅然とすることです。例えば、朝8:20に廊下に誰もいなければ、「まずい!」と思って自ら教室に入ることができる人が増えるのではないのでしょうか。誰かが廊下にいると「まだ大丈夫」という誤った安心感を与えます。つまり、みんなでそうあるべき環境を作ることが大切で、そのためには個人の意識を向上させられるよう、まずは声掛けなどの手段があります。今一度自分のクラスがどうか、振り返ってみましょう。

ノーチャイムデー着席の様子



4枚の写真は高校の先生のお話を聞く会の様子です。東久留米総合高校では職業当て活動をしていました。右の1枚は進路係がお礼の言葉を述べている場面です。

## 学年の先生のつづやき ~今週は遠藤先生より~「一日のはじまりは」

毎朝、学年の廊下で登校を見守っています。4月当初に比べ、チャイムで教室に入ることが少しずつできるようになってきました。しかし、昨年度までの時差登校の習慣から3年生の登校時間が非常に遅いこと、読書に取り掛かるまでが騒がしく、自分たちで声をかけられない状況が心配です。

誰でも与えられた時間は平等にあります。問題はそれをどう使うのか?ということです。8時25分に読書を始めるためには、8時20分のチャイムで教室に入り、着席をします。「あと5分あるから」と思いますが、「25分に始めやすくなる状況を作る」という心遣いは必要だと思います。あと5分は「みんなの5分間」でもあり、「自分だけの5分間」ではない、ということを考えてみてください。まさに修学旅行のスローガンだった「配慮する」という意味を実感します。

「配慮する」ということは、「自分だけでなく相手のことも考えて行動する」ということ。最上級生としての自覚を持ち、責任ある行動を心がけていきましょう。

### <来週の予定>

日	曜	給食	1	2	3	4	5	6	学校行事等
17	月	—							
18	火	○	○	○	○	○	○	○	
19	水	○	○	学	○	○	大掃除	—	ジャージ登校
20	木	—	道	総	式	学	—	—	
21	金	—	夏季休業日開始 三者面談開始						
22	土								

★荷物の持ち帰りを早めにしましょう。18日には持ち帰れるものは持ち帰りましょう。

7/ 19 (水) ②学年集会⇒1学期の振り返りを学年委員会が行います。

⑤大掃除 ⇒ ジャージ登校です。担当場所は後日割り振ります。

7/ 20 (水) ①道徳「背筋を伸ばして」(C14 家族愛)

両親の思いを受け止めつつも自分の夢の実現に向かおうとする主人公の姿から、家族の一員としての自覚をもつことや、よりよい家庭生活を築こうとすることについて考えます。

②総合 修学旅行の事後学習学年発表会

各クラスで選ばれた代表の班が発表します。修学旅行の集大成です。

③終業式

④学活

通知表や配布物などがあります。また、来学期の予定等も確認します。

上履きを持ち帰るので、かばんや袋を忘れないようにしましょう。